



思い通りにならないのが人生

日本も含めて世界中で無差別殺傷事件と呼ばれる犯罪が増えてきました。通り魔であったり、車で歩行者をはねたり、刃物で不特定多数の人に切りつけたりする事件です。新聞やテレビでは、「相手は誰でもよかった」という犯人の言葉が報道されることが多いようです。2年前、京都アニメーションへの放火殺傷事件が発生し、死者36人、負傷者33人という大惨事になりました。犯行動機について報道されていますが、犯人は、死傷した京都アニメーションの従業員の方々と会ったこともなく、無差別殺傷事件の一つです。

このような事件の犯人の多くは「相手は誰でもよかった」という言葉とともに、「自分の思い通りにならない人生に絶望した」という内容の話をしています。もう12年も前になりますが、

東京秋葉原の歩行者天国にトラックで突っ込んだうえ、ナイフで切りつけた事件では、7人が死亡、10人が重軽傷を負いました。犯人は、母親に見捨てられ、ネット上の投稿仲間にはばかにされたことをきっかけに「自分の思い通りにならない人生に絶望して」死刑になるような犯罪を実行したと言われていました。京都アニメーションの事件でも、犯人は仕事を失いお金に困っており、近くに住む人との騒音トラブルが起きた際、「失うものはねえから！」と胸ぐらをつかむという暴行を働くぐらい自暴自棄（じぼうじき）になっていたと報道されています。

人生が自分の思い通りになるほうがいいに決まっています。特に、若いときにはそう思うからこそ頑張れる、夢を実現できるというのも事実でしょう。でも、みなさんのお父さん・お母さん、おじいさん・おばあさんに聞いてみてください。人生や社会は、みなさんが考えているよりは、はるかに厳しいものです。人生は「自分の思い通りにいかないこと」のほうが多く、自分の思い通りにいかないことが当たり前なのです。だから、「思い通りにいかない」からといって絶望してはいけません。思い通りにならないけれど、少しでもその思いに近づけるよう頑張る努力することに生きる意味があるのです。相田みつをさんの「負ける練習」を紹介します。

三観地区新人大会

10月2日(土)

☆ 剣道

男子団体3位(県大会出場)
 予選リーグ 2勝1敗(決勝トーナメント進出)
 準決勝 詫間 0 - 2 観音寺
 女子団体3位(県大会出場)
 決勝リーグ 1勝2敗1分
 男子個人 ベスト8 三田 翔輝
 女子個人 ベスト8 高木 結衣

☆ 野球

1回戦 詫間・三野津 5 - 6 観音寺(判定戦)

柔道の基本は受け身
 受け身とは投げ飛ばされる練習
 人の前でたたきつけられる練習
 人の前でころぶ練習
 人の前で負ける練習です。

(↓)

つまり、人の前で失敗をしたり
 恥をさらす練習です。
 自分のカッコの悪さを
 多くの人前で
 ぶざまにさらけ出す練習
 それが受け身です。(↗)

負ける練習

長い人生には
 カッコよく勝つことよりも
 ぶざまに負けたり
 だらしく恥をさらすことの方が
 はるかに多いからです。

(↓)

そして
 負け方や受け身の
 本当に身に付いた人間が
 人の世の悲しみや苦しみに耐えて
 他人の胸の痛みを
 心の底から理解できる
 優しく温かい人間になれるんです。